

## 令和5年8月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和5年8月18日（金）午前10時00分～11時35分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者〔教育長〕中島秀行

〔委員〕吉本理（教育長職務代理者）、寺本彰、宮本陽子、森田理恵、清水国明

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、中田利明学校教育部長、池田淳教育総務部次長、櫻井誠学校教育部次長、糟谷苗美社会教育担当参事兼社会教育課長、吉川誠学校教育担当参事兼学校教育課長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、鈴木健教育総務課長、北村史恵教育総務課主幹兼教育企画室長、遠山秀仁教育施設課長、三上佳明スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、橋本浩志所沢図書館長、鈴木恵学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、刈谷和哉学校教育課主幹、渡辺純也保健給食課長

〔書記〕小城原光貴教育総務課副主幹、佐藤彰尚教育総務課主査

4 会議の傍聴者 なし

5 開 会 本日の議案は、議案第13号および議案第14号の2件。  
また、協議事項が1件。

6 議題

●議案第13号 令和5年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書  
について

資料に則り、北村教育総務課主幹兼教育企画室長から以下のとおり説明があった。はじめに、冊子の基本的な構成については、前回お示ししたものと同様であり、7月の定例会にて、教育委員の皆様から頂戴したご指摘及び、外部評価委員からのご意見を踏まえ、点検評価報告書（素案）修正箇所一覧のとおり、6点修正した。

1点目は、外部評価委員からのご意見をもとに、学識経験者の意見・評価に追記した。

2点目は、ChatGPTをはじめとする生成系AIの利用について追記した。

3点目と4点目は、児童生徒の自己肯定感の醸成を図る心のエネルギープロジェクトについて追記した。

5点目は、保護者向けにスポーツイベントの情報発信を行うことについて追記した。

6点目は、教職員の負担軽減の取組について追記した。

修正点は、以上である。

報告書の今後の取扱いは、本案議決後、8月22日開催の政策会議において各部へ報告、その後、所沢市議会への報告および所沢市のホームページ上での公表を行う予定である。

以下質疑

(清水委員)

ChatGPTは、何ページにありますか。

(北村教育総務課主幹)

17ページの施策の内容と今後の報告に記載があります。

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

●議案第14号 令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について

資料に則り、吉川学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

「所沢市における教科用図書採択基本方針」に基づき、令和6年度使用特別支援学級用教科用図書に関して、市内小・中学校2校から「選定理由書」が提出された。特別支援学級で使用する教科用図書については、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学大臣による検定済教科書以外の「一般図書」を使用することができることとなっている。また、この「一般図書」については、特別支援学級に在籍する児童生徒の障害の状況及び発達の段階に適合した教科用図書を毎年採択することができることとなっているため、提出された「選定理由書」による教科用図書の採択について議決をお願いするものである。

なお、2校以外の特別支援学級については、「一般図書」利用の希望がなかったため、文部科学大臣による検定済教科書を使用する。

以下質疑

(中島教育長)

北小学校がこれだけ多くの教科書を使用すると書いてある中で、他の学校が無いのは何故でしょうか。

(吉川学校教育担当参事)

北小学校は、平成21年から23年に県の教育委員会から委嘱を受けて、特別支援学級の研究をする中で一般図書の研究をされ指導が始まったと聞いています。

(中島教育長)

研究した成果として、このような図書を使用することで効果が上がるということだと思いますが、市内の特別支援学級に広がっていないことが課題だと思います。今後、特別支援学級の教員の情報交換や指導力向上が必要だと思います。

(中田学校教育部長)

一般図書を使用することの効果については、他の特別支援学級がある学校へ周知していますので、今後も児童に合う教科書を採択できるようにしたいと思います。

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

## 7 協議事項 第3次所沢市教育振興基本計画素案について

資料に則り、北村教育総務課主幹兼教育企画室長から以下のとおり説明があった。

平成30年度に策定した「第2次所沢市教育振興基本計画」が、今年度に計画最終年度を迎えることから、来年度以降を計画期間とする「第3次所沢市教育振興基本計画」の策定を進めている。

これまで、有識者等で構成された審議会を3回、各部の次長で構成された庁内検討委員会を2回開催し、多方面から聴取した意見を元に、教育委員会各課と協議・調整し、素案をとりまとめた。

はじめに、計画の構成について、1ページから5ページまでを『序章』として、計画策定の趣旨や期間、また教育を取り巻く社会の動向などを掲載している。

6ページから始まる『第1章』では、第2次計画の振り返りとして、成果と課題を掲載している。

18ページからの『第2章』では、第3次計画の基本理念、基本方針、及び施策体

系図を掲載している。

19ページに掲載している「基本理念」については、普遍的な考え方として、三つの“宝”を継続して掲げることとした。

20ページは、今回の第3次計画で新たに掲げた「基本方針」を掲載している。国および県の計画を参酌し、これからの5年間で目指すべき方向性を示している。

22ページ・23ページでは、第3次計画の「施策体系図」を掲載している。

24ページから始まる『第3章』で、「施策体系図」で掲げた施策の具体的な内容を掲載している。『第3章』の施策展開の特徴としては、施策ごとに取り組む内容を項目立てして説明し、さらに具体的な取組事例を示すことで、どのようなことに取り組んでいくのか、より分かりやすい表記としている。

59ページからの『第4章』は、計画の推進として、計画の進捗管理の方法、及び指標を掲載している。

今後、誤字脱字など詳細な部分のチェックを進めるとともに、『序章』の教育を取り巻く社会の動向、『第1章』の第2次計画の振り返りについて、成果と課題をさらに精査して修正を行い、全体を洗練させていく予定である。

また、今回の資料では一部写真が掲載されているページがあるが、今後、全体を通して写真を掲載し、取組の様子が視覚的にも分かりやすく伝わる作りをしていく予定である。

最後に、今後のスケジュールでは、本日頂いた意見を踏まえ素案を修正し、パブリックコメントを実施する。その後、審議会を開催し、答申を得て、最終案がまとまったのち、改めて教育委員会会議に議案としてお諮りする予定である。

以下質疑

(寺本委員)

「Society5.0」とは何でしょうか。

(北村教育総務課主幹)

33ページの注釈に記載がありますのでご確認ください。

(寺本委員)

この言葉は、いつ頃から使われるようになったのでしょうか。あまり馴染みのない言葉ですが、以前は4.0があったのでしょうか。

(千葉教育総務部長)

Society5.0 については、人類の発達段階と捉えていただければと思います。人類の社会は狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) と進化・発展し、これに続く新たな社会の姿と位置付けられているのが、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステム (Society 5.0) とされています。国の計画において定めたものになりますが、今後 (Society 5.0) の社会を生きる子どもたちに、どのような教育が必要かということを考えなければいけないため記載しています。

(寺本委員)

42ページの【施策15】勤務時間を意識した働き方の推進で、「教職員が優先して対応すべき業務の精選を一層進め」とあります。また、65ページの【目標6】教育の質を高める環境の整備に「勤務時間以外の在校等時間月45時間以内の教職員の割合」の目標値が100%となっています。100%に設定したのは、重要な項目であり何としても達成したいと捉えてよいでしょうか。

(櫻井学校教育部次長)

働き方改革の中で掲げた目標値であり、目指したいという思いで設定しました。

(中島教育長)

県が100%と示しているのでしょうか。

(櫻井学校教育部次長)

県においても45時間以下が100%と示しています。

(寺本委員)

基本計画のため、細かいことを言うつもりはありませんが、現況61.2%が100%になることは簡単なことではありませんので、計画が定まった際には何か具体的な策を取ることができるようにしてください。

(櫻井学校教育部次長)

目標値も含めて再考したいと思います。

(中島教育長)

具体策は考えていますか。

(櫻井学校教育部次長)

例えば、保護者の電話対応については、遅い時間でも丁寧に対応しております

が、一定の時間で区切って留守番電話に設定している学校もありますので、未実施の学校については効果等を伝えながら周知したいと思います。

(寺本委員)

保護者への周知は、うまく対応できている学校から水平展開してもらいたいと思います。

(清水委員)

学校施設長寿命化事業について、具体的に説明してもらえますか。

(遠山教育施設課長)

市において令和3年度に所沢市公共施設長寿命化計画を策定したことから、学校施設においても長寿命化計画を進めているところです。今年度から基本設計を進めておりますが、建築後40年から50年経過した施設を、80年の施設使用を目指し計画しているところです。

(千葉教育総務部長)

補足になりますが、所沢市公共施設長寿命化計画については、市の施設をどのように長寿命化させるかということで、方法としては3つあります。

1つ目は、短期予防保全であり改修になります。2つ目は、先程ご説明しました40年程度経過した施設を、80年使用出来るように長寿命化するものです。

3つ目は、長寿命化出来ない施設について建て替えを検討し、学校や保育施設等を学校に複合化するものです。以上のことを総合的に判断しながら計画に基づいて進めているところです。

(宮本委員)

39ページの特別支援教育の推進で、特別支援学級の設置のことで先程の話とリンクするところもあるかと思いますが、支援級と通級のクラスが在籍校で受けられたらという話を、支援を必要とされている方に聞いたことがあります。必要に応じて子どもを連れていくが、負担になっているところもあるようなので、学びに集中できる環境を整えられたらと思います。

また、子どもたちに本に親しんでもらおうということが随所に出てきますので、学校の図書館で本に出会う機会がよりあると良いと思います。視察に伺った際に、学校によって蔵書数が異なる印象を受けました。学校個々の図書館ではなく、連携し所沢の学校図書館というイメージで皆が使えるようになると、子どもたちの

読書がより豊かになるのではないかと思います。

(吉川学校教育担当参事)

支援級の整備についてですが、現在小学校に72学級、中学校に30学級あります。通級指導教室も昨年山口小学校で立ち上がったところであり、制度的にはこれからも考えながらより良い教育が受けられるようにしたいと思います。

学校図書館については、各学校の司書が工夫を凝らしてどうすれば図書と向き合ってくれるか、図書館だより等により情報提供しています。ただ、なかなか図書と向き合うところまでは行っていない現状がありますので、研修等を通して改善していきたいと思います。また、学校同士の横の連携については、図書の融通は以前から行っておりますので、改めて全体的に周知を図っていきます。

(宮本委員)

システムが入っているところと入っていないところがあると聞いたことがありますので、学校間で差が出ない仕組みが出来ればと思います。蔵書の管理についても、システムの導入により負担が軽減されると思います。

(吉川学校教育担当参事)

学校によってシステムが入っていないのが現状ですが、今後は統一も含めて検討していきたいと思います。

(中島教育長)

現在は、学校の裁量によってシステムの導入を行っています。将来的には市が統一してできればと思いますが、予算的な要素もありますので検討が必要になります。

(橋本所沢図書館長)

所沢図書館においても、比較的経験の浅い司書に定期的に研修を開催するとともに、学校現場で困ったことがあれば直接指導するような機会を設けています。経験の浅い学校司書においても仕事ができるよう、学校との連携を取りながら進めていきたいと思います。

(寺本委員)

44ページのPTA活動への支援についてですが、PTA会員の中で役員をいつ担うかなどの相談を受けることがあります。先生含め全員加入で無くなったことで、うまくいったということも聞いたことがあります。このページの表現は、

今までと同じ形で運営するものだと思いますが、役員を引き受けた人もいればそうでない人もいると思います。P T A活動に参加できにくい人が、活動に理解を示していけるような方法を探らなければ、大きい都市ほどひずみが大きくなると思います。もう少し組織の在り方について検討するような文面を入れることは出来ないでしょうか。

(糟谷社会教育担当参事)

P T Aの活動には、多くの課題があることは認識しています。現在もP T A連合会と協力しながら、すべての学校ではありませんが、改革・改善に努め組織の在り方、活動の仕方を模索し、変えていく途中段階にあります。そのため、文面にある「時代や社会情勢の変化に応じた組織づくりや活動の適正化を推進する」といったところに改革・改善の意味が込められており、今後、力を入れていきたいと思います。

(吉本委員)

教育振興基本計画に含まれるか分かりませんが、1ページの「予測不能な社会の状況を踏まえ」とありますが、この計画の中に盛り込まれないことが多くあると思います。直近の例では、選挙の投票率が低いため早い段階で啓蒙できないかと思っています。教育の分野に入るか分かりませんが、必要性を感じてもらいたいと思います。また、経済に関しては将来に渡ってしっかりとした計画がないと、高齢になった際にどういう負担が増えるとか、教育の中で教えることも大切です。今後10年で時代が大きく変わると思いますので、所沢市の子どもは、地域教育の中で早い時期からこういうことを学んできたと言えるようなものが、計画全体に盛り込まれると良いと思います。

(森田委員)

65ページの「家庭教育関連事業への参加者数」で、目標値16,000人とありますが、以前と比較して増減どちらの推移を辿っているのでしょうか。

(糟谷社会教育担当参)

コロナ禍の影響で、事業が廃止または縮小していたこともあり、参加者数は減少しています。世帯数が減少していく予想の中で、参加者数の増加を目指すことは難しいことですが、子の保護者だけでなく地域で子育てをしていく観点から、地域の大人が広く参加することを見越して現状より多く設定しています。



(森田委員)

子どもだけが学習するのではなく、保護者や地域の方々も一緒になって子育てに協力し、子どもたちを見守りながら学習できると思いますので、いろいろな形で企画して参加者数を増やす工夫をしてもらいたいと思います。

(中島教育長)

家庭教育学級も先程のPTAと絡んでくることですし、今までと同じ形では減少していくので、家庭教育学級のスタイルも変えていく必要があると思います。

(中島教育長)

ただいまの協議事項について、各委員の意見等を踏まえた対応をお願いします。

## 8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について (教育総務課)

○所沢市教育委員会の8月から11月までの主な行事予定について (教育総務課)

○第3次所沢市スポーツ推進計画素案のパブリックコメントについて

(スポーツ振興課)

○ところざわアスレチックフェスティバルの開催について (スポーツ振興課)

○第34回所沢シティマラソン大会の開催について (スポーツ振興課)

○北野公園市民プールの利用状況について (スポーツ振興課)

○所沢市民体育館の20周年記念事業の開催について (スポーツ振興課)

○学校給食センターサマーフェスタの開催結果について (保健給食課)

○学校給食費の改定について (保健給食課)

○ところんのびのび塾の開催結果について (学校教育課)

○ところん自習室及び夏休み自習室の経過報告について (社会教育課)

以下、質疑

(寺本委員)

ところんのびのび塾とところん自習室の来年度以降の開設予定について、教育センターと生涯学習推進センター以外で検討しているところはあるでしょうか。

(吉川学校教育担当参事)

ところんのびのび塾については、来年度以降、児童やボランティアの数も考慮しながら拡大したいと考えています。

(中島教育長)

高校生や大学生にも参加してもらいたいと思います。教育実習生に声をかけるのも良いと思います。

(吉川学校教育担当参事)

大学生については、授業が終わっていない時期だったこともありましたが、開催時期については今後も検討する必要があると思います。

(糟谷社会教育担当参事)

トコロん自習室についても、拡大の方向で考えています。具体的な場所はこれから検討していきますが、公民館等夏休み期間中に自習室を開設した場所がありましたので、そういうところを中心に、平時の夜間でも開設できるか検討したいと思います。

(吉本委員)

スポーツの歴代受賞者は、個人名が出ていますが、個人情報保護法の観点から本人の同意の上で掲載しているのでしょうか。

(三上スポーツ振興課長)

歴代受賞者については、毎年市のホームページにおいて公表しておりますので同意を得ているものと認識しています。

(吉本委員)

給食費ですが、1食あたり小学校で264円、中学校で325円となっておりますが、材料費だけでしょうか。人件費や、燃料費も含めての額でしょうか。

(渡辺保健給食課長)

食材費のみになりますので、人件費や燃料費等は含まれていません。

(吉本委員)

そうであるならば、食材費と記載して、給食費にはもっと多くの費用がかかることを記載しても良いのではないのでしょうか。

(中島教育長)

給食費の記載については、法令で決まっていることにはなりますが、補足として他にも費用が発生していることを記載しても良いと思います。

(寺本委員)

給食費改定について、学校や保護者には12月に周知する旨の記載がありますが、12月までの間に議事録等も公表されると思いますが、問題はありますか。

(渡辺保健給食課長)

いろいろな会議等で報告していますので、じわじわと広がる可能性はありますが、12月の全体周知の前に保護者へ情報が伝わっても問題はありません。

## 9 その他

### ○今後の日程

- ・教育委員会会議9月定例会：9月22日（金）
- ・教育委員会会議10月定例会：10月27日（金）
- ・教育委員会会議11月定例会：11月17日（金）

10 閉 会 午前11時35分